評価の内容(申請資料に基づき、次の事項を確認している。)

## 1. 評価対象建築材料

評価の対象としたクローザ類は、標準仕様書16章8節に規定するクローザ類としている。

- (1) クローザ類の区分
  - ① ドアクローザ (標準型建具用を含む。)
  - ② ヒンジクローザ
  - ③ フロアヒンジ

## (2) クローザ類の種類等

- (イ) 取り付け方法による区分
  - ① ドアクローザ:標準取付け、パラレル取付け、コンシールド型
  - ② ヒンジクローザ:丁番型、中心吊り込み(片自由)、持出し吊り込み(片自由)
  - ③ フロアヒンジ:中心吊り込み(両自由・片自由)、持出し吊り込み(片自由)
- (ロ) ストップ装置の有無
- (ハ) 閉じモーメント及び効率による区分:1番手、2番手、3番手、4番手、5番手、6番手

## 2. 品質・性能等

## (1) 材質等

規定された主要資材の材質及び資材メーカーから申請品の製造所への納入ルートを確認している。

(2) クローザ類の性能

以下の性能 (開き力・閉じ力・閉じ速度・耐久性等) について、**実施要領**に規定する試験機関の JIS A 1510-3 (2001)「建築用ドア金物の試験方法-第3部:フロアヒンジ、ドアクローザ及びヒンジクローザ」試験結果等で確認している。

項 目			① ドアクローザ		②ヒンジクローザ		③ フロアヒンジ		
	閉で注1 / は別のでは1 / は別のでは1 / がは別のででででででででででででででででででででででででででででででですが、できるではできますが、できまりででは、そのでははいりません。 これ カー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Grade 1	番手	閉 じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉 じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	9以上	45 以上	_	_	9以上	45 以上
			2	13 以上	50 以上	_	_	13 以上	50 以上
			3	18 以上	55 以上	_	_	18 以上	55 以上
			4	26 以上	60 以上	_		26 以上	60 以上
			5	37 以上	60 以上	_	_	37 以上	60 以上
			6	54 以上	65 以上	_	_	54 以上	65 以上
初期値			番手	閉 じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉 じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉 じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5以上	30 以上	5以上	30 以上	5 以上	30 以上
			2	10 以上	30 以上	10 以上	30 以上	10 以上	30 以上
			3	15 以上	35 以上	15 以上	35 以上	15 以上	35 以上
			4	25 以上	40 以上	25 以上	40 以上	25 以上	40 以上
			5	35 以上	45 以上	35 以上	45 以上	35 以上	45 以上
			6	45 以上	45 以上	45 以上	45 以上	45 以上	45 以上
	閉じ速度			常温 (5~35℃) 無風状態において開扉 (70°) から全閉 (0°) までの時間を 5~8 秒に調整できること。					

# クローザ類

件	能試験項目	分	① ドアクローザ	②ヒンジクローザ	③ フロアヒンジ		
1_1	温度依存性		と				
	ストップカ	ストップ 入力	60 N·m 以下 ただしコンシールド 型は、200 N·m 以下	100 N·m 以下	100 N·m 以下		
		ストップ 解除力	8 N·m 以上	3 N·m 以上	10 N·m 以上		
初期値	バックチェック性 (バックチェックを 有する機種の)	幾能を みに適用)	ドア開扉方向に荷重 60N/m²を開扉50°から負荷する。 バックチェック開始角度 (70°~85°)から 更に20°まで開く間 の時間は、0.8秒以上 としていること。	_	_		
		(秒) ン解除角度 ~75°) ンョン機能	開扉 90°の位置から ディルート・アクション解除角 度までの時間が 10 秒 以上確保でき、ま た、その時間の調整 が可能であること。	_	-		
	戸の閉鎖位置(中 両自由のみに適用)		_	_	±3 mm以内		
	繰返し開閉後の 閉じモーメント (N・m)	Grade1	耐久試験後も上記初 期値を満足していること。	_	耐久試験後も上記初 期値を満足していること。		
		Grade2	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初 期値を満足していること。	耐久試験後も上記初 期値を満足していること。		
	繰返し開閉後の効	Grade1	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	-	耐久試験後も上記初 期値を満足している こと。		
耐久性	率 (%)	Grade2	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初 期値を満足していること。	耐久試験後も上記初 期値を満足していること。		
	繰返し開閉後の閉じ	ご速度 (秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。				
	繰返し開閉後のバック性能	ックチェッ (秒)	耐久試験後も上記初 期値を満足している こと。	1	1		
	繰返し開閉後のディクション性能	ィレードア (秒)	耐久試験後も上記初 期値を満足していること。	-	_		
	繰返し開閉後の戸園	閉鎖位置 (mm)	-	-	耐久試験後 ±6 mm以内		
	耐久性の試験回数 Grade1 (繰返し開閉回数) Grade2		50 万回	10 万回	50 万回		
(糸			20 万回	10/0	30 万回		

### (3) 外観及び機能

- (イ)製品及び付属品は、全体の形状が正しく、傷がなく、機能及び耐久性を減ずるような欠陥がない。
- (ロ) ドアを確実に閉じ、働きは円滑で、調整弁は自由に速度調節ができる。
- (ハ) ストップ装置のあるものは、所定の開き角度で容易にストップがかけられ、また、外すことができる。
- (二) 必要な取り付け部品が付属している。

#### 3. 試験方法

- (1) 性能試験は、JIS A 1510-3 に規定する試験方法による。
- (2) 試験ドアの質量は、1番手は25 kg、2番手は40 kg、3番手は60 kg、4番手は80 kg、5番手は100 kg、6番手は120 kgとする。
- (3) ドアクローザの試験体は、申請品のうち、パラレル型(汎用品)とし、当協会と協議のうえ選定する。また、バックチェック機能及びディレードアクション機能は、別途の試験体で各々の試験を行うものとする。
- (4) ヒンジクローザの試験体は、申請品のうち、1.丁番型、2.持出し吊り込み型、3.中心吊り込み型の優先順位を原則とし、当協会と協議のうえ選定する。
- (5) フロアヒンジの試験体は、中心吊り込み(両自由)の汎用品を原則とし、当協会と協議のうえ選定する。

## 4. 標準型建具のクローザ類

標準型建具のドアクローザの製品名(品番)は、以下によっている。

(1) 鋼製建具(簡易気密型を含む。)

申請者名	戸の有効開	スタンダード型		パラレル型		
中明有有	口幅 [mm]	ストップ無し	ストップ付き	ストップ無し	ストップ付き	
大鳥機工㈱	900	102	S 102	P 103	P S 103	
八 局 饿 工 (杯)	950	103	S 103	P 103	P S 103	
日本ドアーチェック製造㈱	900	7002	S-7002	P-7003	P S-7003	
日本ドノーノエック 表垣(M)	950	7003	S-7003	P-7003	P S-7003	
リョービ㈱	900	1002	S 1002	1003 P	S 1003 P	
7 3 — C (M)	950	1003	S 1003	1003 P	S 1003 P	

注) 風の強い場所は、別途考慮することとしている。

## (2) 鋼製軽量建具 (簡易気密型を含む。)

申請者名	戸の有効開	スタンタ	ダード型	パラレル型		
中 胡 名 名	口幅 [mm]	ストップ無し	ストップ付き	ストップ無し	ストップ付き	
	900	102	S 102	P 102	P S 102	
大鳥機工㈱	950	102	S 102	P 102	P S 102	
		(103)	(S 103)	(P103)	(PS103)	
	900	7002	S-7002	P-7002	P S-7002	
日本ドアーチェック製造㈱	950	7002	S-7002	P-7002	P S-7002	
		(7003)	(S-7003)	(P-7003)	(PS-7003)	
	900	1002	S 1002	1002 P	S 1002 P	
リョービ㈱	950	1002	S 1002	1002 P	S 1002 P	
		(1003)	(S 1003)	(1003 P)	(S1003P)	

注) 簡易気密型の片開きW950、親子開きW1,250、両開きW1,900 については ( ) を使用する。